（廿三日夕刊）

休刊（毎月第一第三日曜）
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

# 國民道徳と教育制度

鈴木光四郎

國家の盛衰は國民道徳の消長と密接なる關係を持つて居り國民精神國民道徳健全なれば國勢興隆も然らざる場合に於ては國勢が萎靡するのであります。而して此等の基礎となるべきものは完全なる教育制度に俟つべきものであります。

謂ふ迄もなく我日本は肇に建國の古い民族的國家に屬し我が帝國は世界に比類のない歴史的の國体をなして居ります。而して斯かる我が國土の上には夙に支那や印度等の東洋古民族の思想及[illegible]文化[illegible]我が民族[illegible]國民精[illegible]東洋[illegible]文化[illegible]我國に於て完成されたる觀があります。

斯かる我が民族が西洋古民族や歐米諸國民と自ら其の性徴を異にすべきことは謂ふ迄もないことであります。然るに維新後の明治時代に至つては俄かに西洋の文物思想が移入されそこに當然我國の社會組織は劇變致したのであります。然るに大正時代進んでは昭和時代に及んでは早くも、社會上の缺陷が暴露しそこに必然の結果として思想上の混亂が勃發したのであります。

今やしきりに國民道徳國民精神の振興は唱へられ我が建國の精神迄も喚び起こされて居ります。又一方にはしきりに治安維持の方策は講ぜられ所謂思想の善導迄が試みられて居るのであります。それにも拘らず外來の社會思想は深く民心に浸潤して時代の社會運動は國内到る所に擡頭しつゝあるのであります。

而して資本が過重せられ其の結果從來より一層唯物的傾向を帯び唯心的方面は忘却せられ根本的基礎たる舊時代思想は不安の基礎に置かれてあり權力又權力の下に總し、印象に見出され従つて階級闘争の事實が資本家對無産者の間のみならず社會のあらゆる方面に於て見出さるゝ事は最も考へなければならぬ事柄であると思ふのであります。これ其の基因する所は何でありませうか？

私は此等の事實は道徳觀念の缺陷から生ずるものと思ひます。即精神訓練が缺けてるから起るのであつて精神教育の徹底せる時は多少なりとも緩和される事と思ひます。勿論誤つた常識を打破し理論的に徹底せん[illegible]研究[illegible]の訓練が缺けてる事は爭はれない事實であります。故に多少なりとも精神教育を徹底させる時に於ては圓滿なる社會生活をなし得るものと信じます。

而して成人教育として最も必要なる事は社會を知る事であり社會に生存せんためには社會全般を知る事を以て肝要なるものとするのであります。然るに社會なるものは物質的方面精神的方面を調和して觀察する時に於て始めて完全なるものとなるのであります。故に後は今迄輕視せられた精神的方面の振興をはからなければなりません。これは要するに世界大戰に基く混亂時代の餘波が殘つて日本國体國情に副はない思想が起りそれが社會の缺陷に入つて行つたものと思はれます。

例へば近頃よく新聞紙や其の他の報導で御承知の如く學校騒動の如きも精神的方面の缺陷より生ずるものと思はれます。勿論生徒のみを責める事は出來ないのであつてこれは今日にては昔日の如き師弟間に温情の無い故でありませう、然し多數の力を武器として假令如何なる理由があつても師を排斥するが如きは實に言語道斷と云はなければならない、これ其の基因する所は何が故なるものかと云へば矢張り教育制度の根元たる精神教育の不徹底より胚胎するものと考へられます

各時代の社會制度の多くは個人的心理や個々の史言に相俟つて實現されて居り其の個人的の心理は時代の社會組織や社會的變遷と因果し牽聯して居るばかりでなく何れもが一國特有の國民性や傳統的國民精神と極めて密接の關係をもつて居るのであります。

斯くて個人的心理、思索は一國の國民性を根底として發露され同時に社會的變革は國民精神を基調として出現し國民精神は個人的心理と相俟つて眞價づけられるものと思ひます。

斯くて論を進めるに從つて此等總ての根底を流れ其の基礎となるものは科學の研究と共に完全なる道徳觀念にあるものと思ひます此の道徳觀念を養成するものは完全なる精神的教育に俟つより他にないものと思ひます、これは結局は個人の人格問題となるが人格を高尚にするものは矢張り完全な教育制度に俟つべきものであります。

今日の社會は國民精神萎靡し趣味なき人物の衆合体にして政治家にして政治家に非ず實業家にして實業家に非ず眼を大局に注がずして私利に耽つて居ります。斯くの如きも精神上の快樂を知らない故ではありませんか？將來我帝國をして益々隆昌ならしめんとせば實業を盛にせざるべからず、教育の完全なる發達を主とせざるべからず、而して其の根本方策として國民の健全なる道徳精神の振興をはかり以つて思想國難救濟の實を擧ねばならない。

---

## 童謡　たれ牛

坪井寛猿閣
吉岡獨歩作歌

ヂリ／＼と
暑い日中
たれ牛は
のろり／＼
たれ口の
よだれが
だーらだら
お尻を
叩かれて
歩るいてる
いたいだろ

---

## 明日の吉凶

新暦七月二四日　舊暦六月八日

▲一白、人の口舌が我が身に振りかゝり來る日注意▲二黒　家内に風波なければ事業は自ら進むべし▲三碧　喜びも喜びに終らず痛する時は過失を生ず▲四緑　褌を締直してかゝればなやみも解け去るべし▲五黄　寸陰を惜んではげむときは空より實に移るべし▲六白　進むに秩序あれば住は重くも果すことを得▲七赤　近き所より遠きに及ぼすべき事を忘るな▲八白　人を容るゝの量なければ邪魔の入り來る日▲九紫　守勢より歩一歩と攻勢に轉じ來る好機なり

---

## 講談　闇に閃く男達

(147)　高田涙川作　尾崎雪廣畫

### 金五郎の報恩

小人罪なし玉を抱いて罪あり小山田庄左エ門も大石から預つた金に自分の貯への金もあるので、ツイこゝにガラリ了簡が變つた。

「ウム成程、きくその方の申す通りことを仕損じたるからだ、切腹して申譯いたしたところが信ずる者はなからう。然らばその方の言葉に任せ、一旦、江戸表を立ち退くことにいたそう」

これからたきくを連れてひそかに江戸表を出立し甲州の身延の下山と云ふ宿におきくのおぢのもとに落ちのび、そこに三年の間潜伏してゐたこの庄左エ門は以醫學を少し學んだことがある、下山に三年たる間にその研究を重ね、總髪となつて姿を變へ夫婦の者は再び江戸へ出て來たさすがに小山田庄左エ門では居られぬから名前を中島瀧石と變へて深川寺町で世帶を持ちにしていゝあんばいに病家もふへ大分金も出來たが惡の報は必ずあるもので此に藥籠持ちに抱へし直助と云ふ男、信州の生れで最初はすこぶる正直に見せてゐたが大變なくわせ者、實は信州善光寺無宿本名を權兵衛と云ひ人殺しが八人からある直助權兵衛と一人で二つ名前のある大盜賊此れを知らずに抱えた中島瀧石夫婦の者が稼いで貯めた錢のあるのを見込みとう／＼夫婦の者を殺し、五百何十兩と云ふ有金をさらつて逃亡したがこれも天命は免れ難くほどなく召し捕られ直助權兵衛は鈴ヶ森ではりつけにされた、中島瀧石事小山田庄左エ門、たきくの二人が直助權兵衛のため非業な死を遂げたのも全く不忠不義の罪天命の然らしむる所であらう、それはのちの話し

一方大石藏之助らは細川越中守、始め四家へわかれて預けられ極月二十一日大石を老中月番小笠原佐渡守の座敷へ呼び出し十八ヶ條の識があつた、內藏之助は一々明白に申し開きをする殊に老中土屋相撲守は內匠頭と入魂の間柄であつたため大石の言葉を忠義々々と賞美し、佐渡守の訊問をいゝ加減に切り上げさせてしまふ今日で云はゞ檢事で相撲守は辯護士と云ふかたち、もつとも佐渡守としても決して大石を恨むわけではない忠義の者天晴れの者と思つてゐるが天下の大法を曲げるわけには行かぬ、それ筋道の立つだけの調べをしたのである、そこで當時有名な儒者を集め和漢の典古を調べさせいかにこれを處分するかを評議させた、その結果故主に對する誠忠の心はあはれむべきも天下の大法はまげられずと遂に一同切腹といふことに決しその旨沙汰になつた、もとより一同は初より死を決しおることと故喜んでその命に服し遂に翌元祿十六年二月四日それ／＼潔く切腹した大石の辭世は

「永にうつる花やもくづに
浮かべても
ちりじを恨む庭の梅ヶ枝

とある、この遺骸は諸士と共に泉岳寺に葬る、村雨金五郎は小山田喜內の葬儀萬端に何くれとなく世話し大石初め義士一同の身の落着を案じてゐたが、切腹の次第がわかつたから金五郎は百ヶ日の間ならず日々泉岳寺に參詣し一同の靈をなぐさめることを怠らなかつた金五郎の名はその後ます／＼江戸中にひろがり芽ヶ崎より嘉平夫婦を呼び寄せ孝養をつくした。

---

廣告

平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

◆婦人技藝講習會◆

◉講習科目
クレープ造花ト人形、マクラメレース編物、フランス刺繡、ビーズ刺繡
婦人子供洋服（製圖及實物製作）

◉講習期間（昭和三年八月八日ヨリ八月十二日マデ五日間）

◇詳細ナル公則及入會案書ハ御申越次第贈呈

平町田町ハシモトヤ糸店
主催　ハシモトヤ手藝研究會

◆謝恩接待◆
ウーロン冷茶
營業五週年紀念

丸昇軒食堂
（電四三九番）

平町
吉田眼科醫院

## 公告

本郡の舊家、寺社、研究家に急告
御大典御成婚奉祝紀念獻上の爲

### 磐城史料圖版集成刊行

（凡て東京にて謹製）

今上陛下曠古の御即位式と本縣人松平節子姫が畏くも秩父宮殿下と御成婚を遊ばさるゝ御盛事等が孰れも今秋御舉行し給へるに對し奉り古來陸奥文化最初の本源地と爲す我が磐城郡の所謂歷史寫眞帳なるものを生等淺學をも顧みず此際に於て謹纂し之を獻上し齊しく郷土の責任をして天覧、臺覧の光榮に浴すべく冀ひ聊か本郡の國民的誠意の一片を儀表し度き希ひである。

仍て本郡各舊家、寺社、研究家の所藏する古遺物並に文書、家系譜或は學者偉人、功勞者、名工並に名人等の遺墨肖像及び其の作品等を至急寫眞材料に御貸與願ひたし。費用一切申受けず。御持參下されば即時複寫若しくは撮影して返却す。

〆切本月末日限り！

申込所　平町白銀町十一番地（電話八〇九又は七番・三〇一番）

謹纂並に解説者　『磐城文化史』御買上の光榮者
諸根樟一
諸橋元三郎
草野順平

此の際各自所藏資料の提供を吝みて萬代に悔ゆる勿れ！

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

スター好　中形
粋な　手中
着尺モスリン　本場カヤ
平　龜田屋　電五七

青麻山
中風藥
定價一週分九〇　二週分一、七〇　三週分二、五〇
動脈硬化症、腦溢血、半身不隨、言語難澁、其の他中風より起れる諸症に偉効を奏す
是非御試用を勸む
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

宮内省御用達
ヒゲタ醬油
特約店　平町田町　廣瀬支店　電話五四番

御料理
平新田町
喜柳
電話三二〇番

醫院開始
內臓外科
外科一般
花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

賣切御禮廣告
先般セイコー抽籤付腕時計賣出中の處御引立に預り全部賣切申候此の段御厚禮申述べ候
各位
三丁目　大谷時計病院（電話一九番）

## 井上協會理事から 内務大臣に申達

### 特別建造物保護に就て 左の意見書を

平消防組頭にして大日本消防協會理事井上茂作氏は特別保護建造物の保護に關する左の如き意見書を内務大臣にして協會長たる望月圭介氏に提出したが來る八月六日東京に開かれる協會委員會に於て審議される筈であると

意見書

國寶並に特別保護建造物に對する防火消災の設備に就ては既に當局は相當の施設を爲し又最近輸出禁止の法令を公布し保護政策を進めつゝありと雖未だ以て完璧の城に達したりと謂ふべからず依て茲に特別調査機關を設置し消防の見地に立脚重要なる營造物の保護政策を樹立せむと欲す

理由

一、國寶又は特別保護建造物は先人の遺物にて古代の所謂文藝家教美術文化の表象してゐる歷史を徴し得べく是を滅却せば國粹たる歷史は亡び之を保存せば後人を教化裨益するや大なり蓋し國寶保護建造物とは本邦唯一の歷史にして亦活きたる教科書として國民精神の中心を維持し涵養する上に於て重大なる意義有するものなれば國家は是が保存に最善の努力を爲さゞる可らず近時高野山に炎上あり其損害一千萬圓なりと傳ふ富の燒失は尚ほ忍ぶべし水火に求むべからざる國寶と保護建造物の燒失は忍ぶ能はざる處なり

右御採用あらむことを意見書提出候也

昭和三年七月二十一日

大日本消防協會

幹事 井上茂作

大日本消防協會

會長 望月圭介殿

## また／＼磐炭が 協定を破り亂賣

### 木曜會は結束して 此れに對抗

磐城炭礦が木曜會の協定を破つて貯炭の亂賣を開始現下の苦況を切り拔けんとした結果遂に同礦を除く木曜會加盟、三井、三菱、大日本、大倉、古河の各礦は必然的に此れが對抗策として遂に磐城炭礦との競賣を決せんとしたが斯くては益々不況の折柄炭價の崩落を招き常磐炭界將來の爲め由々敷重大問題であると言ふので調定者現れ磐城炭礦は遂に亂賣を止め木曜會、炭價維持協定に從ふ事と決定した旨既報したが其の後磐城炭礦は貯炭の激増と共に經濟上の苦境愈々深刻化し來つた結果また／＼協定を破つて貯炭、亂賣を開始するに至り再三同礦に斯る擧に出でぬ事に對して流石に記名木曜會加盟礦も愈々最後の對抗を爲すべく決し三井、三菱、大倉、古河、大日本等は磐城炭礦と亂賣、競爭する事となつたが常炭界の今後の成行は頗る注目されてゐる

## 子寶なくて人生なし

### 奥さんの機智で悟つた 名物男山野邊君

平町五丁目角明治堂藥局主藥劑師山野邊東次郎君彼れもまた平町の一名物男たるを失はない、曾つて本縣藥劑師會の役員選擧に際し其の配置の不當なるに芽を發した君の憤慨は遂ひに用捨もなく爆發し、本縣藥劑師會の在存價値を否認す――なる縁切り證文を叩き付け何の未練氣もなく同業組合を脱退して了つた、物の道理を辯へん偶像共を相手に組合費の會費のと被徴發の義務を負はされたその上に、彼れ等の指揮命令に從はざる可らざるは本來が吾儕の性に合はん、見給へ、今後五年にして吾等は三井、三菱を凌ぐ大富豪にならずんばムツソリニーに優る大政治家となつて世界を震撼せしむる自信と可能性があるんだ――と葦ズエより天上を覗く樣な尋常の耳で聞ねては誇大盲想狂として、君の爲めに巣鴨か松澤行きを奬めたい程、途方でもな雄辯を揮つて捲くし立てるかと思ふと、彼れは自らノンキな父さんを以て任じ店に出づれば神妙に番頭小僧の走り役まで相勤め而して一片の擇庵と一本の晩酌に諦らめを付けてゴロリと横になるほど單賢彼れは難の無いノンキな父さんである、サラリー生活から前垂れ一本で開業以來三ヶ年忽々にして店は膨れる信用はつく何處に不自由ないが惜しいことに子供の無い、戀なくして人生なし――を口癖の彼れは子寶なくして人生なしと深く感じだか、最近どうも奥さんへの當り散らしが尋常では無いと、そこは流石に藥屋の奥さんだけ紙背を徹す樣な眼光を以てチヤンと睨みを付けて了つた。遂ひ此の間の山野邊君が商用上止むに止まれん餘儀ない感情で歸宅したのが其の夜も曉きに近い頃であつた、處が其の翌朝奥さん何思ひけん自分名義貯金通帳を差し出だし、外に子寶の出來る樣如何なる亂行氣儘な振舞ひも忍びます――旨の宣告をされてガクリとしたのが本尊の山野邊君、山内一豐の妻に倣ひ馬に代ふるに子寶を以てしたその機智に動かされて見れば魚心に水心も悟つた山野邊君、爾來大いに消氣返つてゐる發心

## 業務上横領

### 書籍代を費消

石城郡農間村大字豊間野矢安孝(三七)は磐城經濟新報社代理部に雇はれ中書籍賣上代金拾五圓十五錢を横領し同社代理部から平署に告訴された野矢は嘗て磐城經濟新報社の廣告部員として雇はれ中廣告料金を横領し三回ばかり解雇された事があり其他芳しからぬ擧實のあると不拘又々業務上の横領を敢てするに至つては改悟の情絶對に無きものとして告訴されたものである

## 山代吉宗送檢

### 公務執行妨害と傷害 本日平檢事局に

平町字古鍛治町の事務所に於て新黨組織準備會山代吉宗(三八)伊藤保太郎(三三)の兩名は自宅から檢束されたのは既報の如くであるが、檢束に赴いた平署高等課吉田刑事に對して山代は暴行を働き全治二週間の傷を負はしたので平署では協議の末公務執行妨害として山代及び伊藤の兩名を取調べる事となり二十一日午後から片寄、伊藤兩刑部補は被害者吉田並木兩巡査の取調べを行つたが結局山代等は廿三日午前十一時送檢された

## 濱通りに 害虫發生

### 豫防策に腐心

石城郡地方は田植終了後天候の爲めか各方部に泥負虫或ひは稻熱病等が發生したので郡農會では種々之が驅除策を講じてゐた矢先、今度は郡南から濱通り方部に螟虫が發生し折角植付けた苗は枯死する狀態なので大いに驚き螟虫の豫防策をなしつゝある、害虫の發生した原因は不明であるが肥料と天候の爲めらしく郡農會では各町村農會並に農事實行組合等に對して豫防策を奬勵指導してゐる

## 遊興代を 踏み倒す

### ついでに 浴衣を着逃げ

自稱山形縣鶴岡市鍛治町生れ當時不定無職窃盗前科三犯池田恒三郎(三三)は去る四月廿四日山形刑務所を出獄後仙臺市、平町、湯本町等に於いて十數件の窃盗を働き去る廿日夜湯本町備中屋旅館島崎三五郎方の投宿したが廿一日朝宿料飲酒代約十圓を踏み倒した上浴衣一枚帶を窃取逃走同夜は同町貸座敷若松幸藏方に登樓遊興代二十餘圓を踏み倒し逃走した事平署に探知廿二日平署に逮捕されたが去る十六日前記鶴岡市龍造寺住職小野田某から現金十五圓を詐取した旨自白した

## 英國映畫業不振

### 入超一昨年度の倍

＝英國商務省發表＝

英國商務省發表に依ると昨年度の同國映畫業は未曾有の不況で輸出減に加へて入超は一昨年度に比して倍加して居る、即ち一九二六年のフイルム輸入高三千二百万呎に對して二七年度の輸入高は七千八百万呎二六年度の輸出五千五百三十三万三千呎に比して二七年度の輸出は五千四百二十六万二千呎で入超四千六百万呎、輸出減百七万一千呎を算して居る、此の爲め政府は近く英國映畫業者に對して積極的振興策を諮るものと觀られて居る

## 新潮座の 會津の小鐵

### 觀音劇場上映

新潮座の山口俊雄小笠原茂夫等マキノ入社第一回作品並木詩路瓶原作吉野二郎監督田中十三カメラになる「會津の小鐵」八卷は此程完成し整理も了へたので二十八日より觀音劇場に封切された、舞台から映畫へ進出した新潮座一座の熱演は非常なる好評を博して居る、山口俊雄、小笠原茂夫等が如何に活躍して居るか映畫界の一鋭鋒である。

## 日活映畫 「俵星玄蕃」

### 四月上旬封切

日活映畫、清瀬時將尾上多見太郎、澤村作子主演「俵星玄蕃」は四月上旬から富士館神田日活館で封切ることになつた、此の映畫は多見太郎久し振りの特作ものである。

## すみ子と 芳子顔合

### 「棘の樂園」で

蒲田の野村芳亭監督は近く畑耕一原作「棘の樂園」を映畫化することになつた、同映畫には川田芳子と栗島すみ子が初顔せで出演する他岩田祐吉、奈良眞養、三田英兒、武田春郎、木村健兒、岡村文子、藤野秀夫、八雲惠美子等の出演する近來の大映畫である、

東西映畫社映畫「心の不思議」

## 四倉港修築

### 猛運動開始

石城郡四ッ倉町の漁港修築期成同盟會幹部は二十一日夜に協議の上近く町民大會を開いて委員をあげ目的達成の運動方法を定めるはずで町内から約一千圓の寄附金をつのり猛烈なる運動を起すことになつた

## ◆名ばかりな◆ 娼妓の待遇改善

### 依然彼女等は籠の鳥 平署で嚴重調査

娼妓の待遇改善案は實施以來茲に二年に及んでゐるが最近打續く不景氣を理由としてもとの昔しに立ちかへり

**改善事項** 中最も娼妓にとつては重大な月一回の公休は娼妓疾病による費用樓主負擔裁縫の教授等は公には實行してゐるが如く裝ひ昔通りの籠の鳥そ儘の虐待をなしてゐると云ふ不心得極まる樓主もあるこの事實は時々警察署長の手許に投げ込まれる彼女等の投書に依つても明かであるが、右につき平警察署は語る

「漸く人間らしい待遇を受けられる樣になつた娼妓運も一二非人情な娼妓の考へから改善目的の目的が實際に達しられないとすれば由々しき人道上の問題だ徹底的に調査をした上處置をつける要がある」云々

## 溝に叩込れて激怒 斧を揮つて斬る

### 晩酌の生んだ 湯本町の椿事

當時湯本町字三函山口才一郎方居住日雇業田村郡七郷村生れ柳沼秀吉(三二)同家居住日雇業の長野縣長井町生れ小林末吉(四二)の兩名は昨廿二日午後七時半頃同家座敷で晩酌中些細の事から口論を始め果ては大立廻りを始めた結果末吉は秀吉の爲め同家庭先の溝に叩き込れ頭部に裂傷を負ふたのに激昂薪割斧を揮つて秀吉の右足膝關節に斬りつけた騷に急行した赤津巡査の爲め秀吉、末吉の兩名は各れも逮捕目下嚴重な取調を受けてゐるが兩名共可成の重傷である

## 第七回 少年庭球大會

### 九月中旬に擧行

本社主催、平庭球倶樂部後援郡下小學校庭球大會は來る九月中旬に擧行する事と決定致しました

但し試合は前年通りとし現在優勝旗は好間小學校が保持して居ります。

磐城新聞社

## 遭難 榮福丸救助

### 乘組員は 全部無事

江名町大字江名字折戸澤助右エ門所有榮福丸は乘組員四十名搭乘去る十九日中之作を出港豊間鹽谷崎岬を去る約百七八十浬の海邊に於いて鰹群の搜探中突如既報の如き未曾有の大雨に襲來され發動機械の故障に依つて危く難破せんとしたのを廿日午後六時同所を航行中の靜岡縣福吉丸に救助され約五十浬の個所に避難廿二日午前三時頃中之作吉田權右エ門の所有權現丸の出動に依つて辛じて港港する事が出來たが乘組員一同は無事であつた

## 平銀行總會

### 損益金認附議

平町株式會社平銀行の今期株主總會は二十二日午前十時より開會し今期損益金の承認、處分案其他を附議したが株主より若干の質問あり正午閉會した

## 引取る者がない 平驛の忘れもの

### 一日平均十三四件…… 保管で平署悲鳴をあぐ

海水浴時を控た平驛に雜踏を呈し從つて忘れ物等非常に多いので極力これ等の取締を勵行してゐるがそれでも毎日忘れ物が平均十三四件に達し多い日は二十件位に上つてゐるが忘れ物の大部分は帽子であるが然し中には相當價格のもの或は金錢等もあるが申出るものが極少く同驛の四月以降の忘れもの物件數一二百件に達し平警察署ではその保留に手古摺つて居る

## 優勝カップ 撞球大會

### 來る廿九日 マルトで

平町田町マルトビリヤードでは恒例の月次十勝會並に優勝カップの爭奪戰を來る廿九日午前十一時から擧行するが競技方法は前回同樣で出場選手五十名に達すべく盛會を豫想されてゐる因みに現カップ保持者は福島(二十點)君である

## 署員告訴の 實地檢證

### 窪田檢事が

平町辯護士山野邊義政外兩氏が平署員を相手取り暴行瀆職の告訴を平檢事局に提起した事は既報の如くであるが窪田檢事は十九日夕刻書記を隨へ平劇場に至り實地檢證を行つた、尚は民政黨では二十二日演説會を開催する豫定であつたが行はないことに決定した

## 農會狀態視察

石城郡勿來町農事實行組合長並に實行委員農會總代十數名は二十三日平町石城郡農會事務所に來り農會の狀態を視察の上大山技師の案内で農事試驗場石城分場を視察

## 今日の温度と 明日の天候

### 小名濱測候所發表

本日正午の温度は七十四度五分 明日の天候は北東の風時々曇り

## 淺野翁講演

### 明夜公會堂で

平町教育會、平青年團、軍人分會の聯合主催に係る淺野總一郎翁の講演會は二十四日午後七時より元郡會議事堂に於て開き淺野翁の「[illegible]愛精神と予の處世法」并に[illegible]三郎氏の「白色倫理運動の實際化」と題する講演がある筈だが特に婦人の來聽を歡迎すると

## 臨時列車運轉

### 明日の丑の日に 時間割決定

明廿四日は土用の丑の日で例年の如く平驛では四倉、久の濱間に次の如く臨時列車を運轉する事になつた

△時間割

平發　久の濱行
午前七時三十分
午前十時二十三分
久之濱發　上り
午前十一時三十七分
午後四時二十六分
四倉發　平着
午後六時十二分

## 手に負へない 浮浪勞働者の群

### 折角の人事相談所も惡用さる 眞の不遇者は極僅か

自由勞働者にとつての夏枯れ時が來て都鄙をとはず失業者の群が溢れ充ちてゐる殊に當地方は常磐炭界控へてゐる關係上縣內交通路の中心にある關係から北は北海道、青森、南は關東、關西、西は新潟新津、の各方面から流れ來る者が多くこれ等のものは一樣一儲けせんと流れては來たもの〻當地方とて金の成る木が生茂つてゐる譯では、いづこも同じ不景氣で遂に用意して來た金をつかひ果して路頭に迷つたものや出稼ぎとしてゐたが病氣で激しい勞働に耐はなくなつて漸く平町まで辿りついたものゝ多くは人事相談所に泣き込み歸國旅費や食費の貸與方を願出でるものが最近ます／＼多くなり去る四月一日から二十日までに四十餘名のものが哀れな姿で窓口に立つたが事情を調べて貸與したものはこのうち二十七名でその貸與金額二十圓五十五錢貸與者の主なるものは北海道東京方面に出稼ぎ中病氣に罹つて漸く辿りついたものや就職口を求めて來たが逐に旅費に窮して故郷にも歸ることが出來ない者など等のものは大抵相談所では當然惡むべきものだ考へて返却は勿論禮狀一本も寄越さぬ

**連中が多く** 平相談所で四月から貸與した廿六名のうち返却して來たのは僅か二名の四圓八十錢に咽喉元過ぎれば暑さを忘れるの連中は相談所でもあきれ果てゝゐる

## 從業員慰安

### 入山礦で 小名濱海岸に 脱衣場を設置

湯本町入山炭礦會社では同礦自力會と共同で從業員慰安の爲め小名濱海岸地内に無料脱衣場の設備を爲し從業員全部の便宜に備へてゐるので同礦從業員等は非常に喜こんでゐる

## 社告

營業部員　一名

廿歳以上卅五歳以下の活動家を至急募集す

本人履歴書持參午前中來談あれ

磐城新聞社

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番